

2019年度 事業計画の概要

1．JANSIのミッション

JANSIは、日本の原子力産業界における世界最高水準の安全性の追求（～たゆまぬExcellenceの追求～）を確実なものにするため、原子力事業者の自主的継続的安全性向上活動を牽引する。

2．ミッション達成のための取組み

- （1）事業者から独立した自主規制組織として、国内外関係機関とも連携。事業者の安全性向上活動を客観的に評価し、改善策を提言・勧告する。
- （2）事業者を指導し、牽引できるレベルまで個々人の力量を向上させる。
- （3）「自主規制実現のためにJANSI及び事業者が目指す姿」を制定し、JANSIと事業者が合同でセルフアセスメントを実施。
- （4）エクセレンスの設定、評価、支援のサイクルを確立し、包括的な原子力安全の向上を牽引する。

JANSI活動の基本方針（2/2）

3．事業活動を確実に進めるための仕組み

- （1）セルフアセスメントによる評価と次年度計画への反映
- （2）CEO及びCNOによるオーバーサイト（理事会、CNO会議）
- （3）準特別会員代表者による提言（準特別会員代表者会議）
- （4）監事による監査（外部監査）

2019年度の活動方針（1/3）

1. 事業策定の考え方

(1) 基本的な考え方

2019年度の事業計画は、10年戦略に基づき策定した。

10年戦略構築に当たっては、事業者も検討体制に加え、10年戦略委員会や基本WGを通じて検討を進めるとともに、その途中経過についてJANSI会議体、電事連会議体に適宜報告し、意見を伺った。

10年戦略は有効性等の確認などフォローアップを行っていく。その結果、10年戦略の修正が必要となった場合は、その変更点を次年度事業計画に反映する。

(2) 具体的取組みの抽出及び年度展開

事業計画における活動項目は、10年戦略の検討の中で2019年度の具体的取組み（事業・活動）として抽出し、「2019年度事業計画」として整理した。

2019年度の活動方針（2/3）

2-1. 10年戦略における主要アクション

項目	主要アクション
	(1) ピアレビュー（PR）の効率的・効果的实施 (2) 共通する重要課題の解決等に向けた事業者支援の強化 (3) 自主的基盤活動に対する支援の実施 (4) 再稼働支援の実施 (5) 竣工に向けた支援、稼働中のPRなど再処理施設の支援の実施
	(6) 発電所パフォーマンスの日常的情報把握の強化 (7) 運転経験（OE）業務の高度化と情報発信の強化
	(8) 安全文化診断手法の高度化と実施 (9) 安全性向上業務の総括とリスクマネジメント支援の充実 (10) 世界原子力発電事業者協会（WANO）との協働による本店PRなどオーバーサイト機能の強化 (11) 事業者トップとの直接対話など自主規制の主体としての意識の引き出し (12) 発電所総合評価の継続的改善と実施
	(13)～(15):「事業者の技術力の維持・向上」関連
	(16)～(20):「自主規制組織としての機能・意識・技術力などの基盤強化」関連

2019年度の活動方針（3/3）

2-2. 2019年度重点活動

主要アクションに係る2019年度取組み項目の内、JANSIを取り巻く環境要因や2018年度重点活動に対する評価を踏まえて制定。

.発電所ピアレビューの効果的・効率的実施と支援活動の充実 関連	
	PRの効率的・効果的实施、WANO東京センター（TC）との連携
	PR等で抽出された重要課題の解決に向けた支援
	事業者の自主的安全性向上活動の基盤となる活動の牽引
.発電所パフォーマンスの日常的な情報把握と情報発信の強化 関連	
	発電所パフォーマンスの日常的情報把握に向けた検討
	OE業務の改善・高度化に向けた検討

2019年度事業計画の概要：その1（1/5）

1-1．10年戦略主要アクションに係る2019年度事業計画 （ は重点活動関連を示す ）

10年戦略 主要アクション	2019年度事業計画
(1) ピアレビュー （PR）の効率的・効果的实施	発電所（柏崎、志賀、大飯、浜岡）PRの確実な実施 PRの効率的・効果的实施 WANO-TCとの連携（WANO同等性対応含む） コンティニュアス・モニタリング構築に向けたFS（フィージビリティスタディ）
(2) 共通する重要課題の解決等に向けた事業者支援の強化	過年度のPRや支援活動を通じて得られた発電所の現状を分析、JANSIとして支援を集中する課題抽出、事業者と共に支援策を策定 PR等で抽出された重要課題の解決に向けた支援 要改善事項（AFI）を受けて発電所が実施する安全性向上のための改善対策について、SR及びTCPを窓口としたJANSI全体で必要な支援を実施 エクセレンスガイドライン（Ex-GL）の更新、普及活動
(3) 自主的基盤活動に対する支援の実施	事業者の新たな基盤プログラム構築・運用等のための支援（ベンチマーキング等を踏まえたガイドライン（GL）の更新、セミナー等を通じたGLの展開、各プログラム定着に向けた支援を実施。）
(4) 再稼働支援の実施	WANOと連携しつつ、先行プラントとの意見交換などの支援を実施

2019年度事業計画の概要：その1（2/5）

1-1. 10年戦略主要アクションに係る2019年度事業計画 （ は重点活動関連を示す ）

10年戦略 主要アクション	2019年度事業計画
(5) 竣工に向けた支援、稼働中のPRなど再処理施設の支援の実施	サイクル施設支援 廃止措置支援 (注) 再処理施設以外のサイクル施設、廃止プラントへの支援含む
(6) 発電所パフォーマンスの日常的情報把握の強化	パフォーマンス・モニタリング構築に向けたFS（全体システム、制度設計検討）の実施 パフォーマンス・モニタリングに必要なデータ収集 WANO-PIデータ活用
(7) OE業務の高度化と情報発信の強化	国内外のOE情報を収集・分析し、重要度に応じた文書を事業者 に発信 OE業務の改善・高度化に向けた検討 検討段階での事業者との議論の深化 人的要因等に対するトラブルの予防保全活動の強化 新知見活用の仕組み検討及び新知見の活用
(8) 安全文化診断手法の高度化と実施	安全文化診断の実施（6箇所：電力5、メーカー1） 安全文化醸成・向上の支援 安全文化診断関連業務の高度化 安全文化診断とPRの情報共有と連携強化

2019年度事業計画の概要：その1（3/5）

1-1. 10年戦略主要アクションに係る2019年度事業計画 （ は重点活動関連を示す ）

10年戦略 主要アクション	2019年度事業計画
(9) 安全性向上業務の 総括とリスクマネジ メント支援の充実	事業者のRM体制整備の支援 安全性向上策の評価手法の整備等に係る活動 安全性向上策の評価のための基盤整備 日本版事業者自主安全評価書（JSAR）GL作成
(10) WANOとの協働 による本店PRなど オーバーサイト機能 の強化	事業者のオーバーサイトの実行性向上の支援 （例）WANO-TCの本店PRに、JANSIはレビュアー を派遣
(11) 事業者トップと の直接対話など自主 規制の主体としての 意識の引き出し	本店経営層、発電所幹部に対する理解活動 （例） ・理事会等を通じたメッセージ発信 ・自主規制の主体としてのリーダーシップを養成 ・JANSI幹部による発電所との直接対話
(12) 発電所総合評価 の継続的改善と実施	発電所総合評価の実施と充実 （例）発電所総合評価システムによる自主的安全性向上活動の 活性化（表彰含む）

2019年度事業計画の概要：その1（4/5）

1-1．10年戦略主要アクションに係る2019年度事業計画 （ は重点活動関連を示す ）

10年戦略 主要アクション	2019年度事業計画
(13) 緊急時対応力の向上のためのリーダーシップ研修及び防災訓練支援の実施	原子力防災訓練に係る支援 リーダーシップ研修 研修・セミナーにおけるWANO-TCとの連携
(14) SAT手法の普及、定着	SAT普及に向けた活動 (例) 教育訓練GLの整備、SAT実務研修、発電所キャラバン
(15) 福島第一事故の教訓反映の徹底	福島事故の教訓反映 福島事故風化防止対策
(16) 緊急時における重要度文書発信等による事業者支援の展開	緊急時における事業者支援 (例) 事業者、WANO-TCに協力し、事業者・WANOの訓練に 参画（リエゾンの派遣含む）
(17) 中長期人材確保・育成プログラムの展開	中長期的な要員確保 職員の適正配置 職員力量の維持・向上 ナレッジマネジメント（KM）によるJANSI内での知識・価値の共有

2019年度事業計画の概要：その1（5/5）

1-1．10年戦略主要アクションに係る2019年度事業計画 （ は重点活動関連を示す ）

10年戦略 主要アクション	2019年度事業計画
(18) トップによる自主 規制組織としての意 識浸透	トップとの対話活動 環境変化が組織文化にもたらす影響の把握 (例) 組織文化に関するJANSI内アンケート調査の準備
(19) NRAと原子力安 全の相乗効果発揮の ための連携強化	PR報告書の取扱いに関するNRAとの覚書締結のための調整、 締結
(20) WANO、INPO他 の国際機関とピアの 関係を構築	国際連携に係る枠組みを整備し、各部門の取組みを支援する とともに、有効性を評価し、改善につなげる

2019年度事業計画の概要：その2（1/2）

1-2．10年戦略におけるその他アクションに係る2019年度事業計画

10年戦略の その他アクション	2019年度事業計画
自主ガイドライン整備による支援	新検査制度に関連するEQ(耐環境性能)管理の向上、規制へ申請する解析業務の品質向上、炉内構造物の信頼性向上等、事業者の自主的安全性向上に係る自主ガイドライン整備による支援活動を実施
保全技術基盤の整備	事業者の機器信頼性向上のための保全プログラムに係る技術基盤の活動体制の整備、データベースの充実
組織有効性 (QMS)への支援	事業者の自主保安活動としてのQMS(品質マネジメントシステム)実効性向上に向けた共通課題の抽出と解決について、「QMS課題検討会」を通じ海外の先進事例も踏まえた支援を行う
組織有効性(ヒューマンパフォーマンス)への支援	ヒューマンエラーの低減に関して、ヒューマンファクターに係る共通課題への対応方策について「ヒューマンファクター検討会」を通じた支援を行なう

2019年度事業計画の概要：その2（2/2）

1-2．10年戦略におけるその他アクションに係る2019年度事業計画

10年戦略の その他アクション	2019年度事業計画
組織有効性（根本原因分析）への支援	RCA（根本原因分析）の理解・普及に向けて「RCA推進検討会」を通じた支援を行う
メーカー支援	メーカーPRの継続実施
運転責任者判定認定業務等	運転責任者判定業務の継続的改善、運転管理支援充実 （例）PR等で抽出された重要課題の解決に向けた支援 資格認定（原子炉制御員資格など、社内認定を含む）の充実 （例）2020年度の新検査制度導入までに資格の在り方等の基本スタンスを検討
保全技量認定業務の 他機関への業務移管	他機関への業務移管検討

2019年度事業計画の概要：その3

2. その他（10年戦略検討対象以外）

規格・標準の整備、促進

活動項目	2019年度事業計画
a. 規格・標準整備の一層の迅速化と活用促進	学協会規格類協議会の学協会規格整備計画案を踏まえて、JANSIで策定した「民間規格整備5ヵ年計画」に基づき、原子力の安全性、信頼性の向上に必要な各種規格・標準の整備を支援する（標準委員会、規格委員会等の対応含む）
b. 規格・標準の中長期計画の継続的見直し	学協会規格類協議会の規格整備計画案改定作業を支援するとともに、「民間規格整備5ヵ年計画」の継続的見直しを実施する
c. 規格・標準整備体制の検討	事業者が主体的に進める原子力産業界としての最適な整備体制の検討に協力する